

2023年9月27日

各位

会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング  
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之  
 (コード：2418 東証プライム)  
 問合せ先 経営企画部長 渡辺 寛之  
 (TEL: 03-5464-0081)  
 (URL: <https://www.tsukada-global.holdings>)

プライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）  
及びスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月10日に、「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を、2023年3月23日に「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」をそれぞれ提出し、その内容について開示しております。

2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所の規則改正及び直近でのプライム市場の上場維持基準の適合状況を踏まえ、改めて今後の適合に向けた計画について検討した結果、本日開催の取締役会において2023年10月20日を移行日としたスタンダード市場への選択申請を決議し、申請いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況について、2023年3月23日付で「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」として開示しており、その推移は下表のとおりとなっております（再掲）。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)
当社の適合 状況及び その推移	2021年6月末時点	152,452	56	31.1	0.5
	2022年12月末時点	150,791	56	30.7	0.4
上場維持基準		20,000	100	35.0	0.2
当初の計画に記載した計画期間		—	2024年12月末	2024年12月末	—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

## 2. プライム市場の上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価

当社は、2023年3月23日に公表いたしました「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおり、業績の回復及び株主の皆様への還元並びに現在流通性がないとみなされている株式の市場への流通を目的とした主要株主との対話を行ってまいりました。業績面では、2023年12月期は第2四半期累計で営業黒字化を果たしており、通期でも前期比59.2%増とさらなる業績回復を見込んでおります。株主還元では、中間での復配を実現したほか、期末も5円の配当を予想しているところであります。また、流通株式比率に対しては、引き続き主要株主との対話を継続した結果、一部株式の売却に至っております。

## 3. スタンダード市場の選択理由

当社はプライム市場の上場維持基準のうち、流通株式時価総額及び流通株式比率の両基準を充たしておらず、2023年3月23日付けの「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載の通り、プライム市場の上場維持基準の適合に向けて継続的な努力を行ってまいりました。

今回、上場維持基準の緩和経過措置の終了時期が明確化されたことを受け、上場市場区分について再度検討した結果、以下の理由から、スタンダード市場を選択いたしました。

当社がプライム市場の上場維持基準を充たしていない流通株式時価総額については、当社の取り組みだけでは実現できない外的要因も多く、当該市場での上場を維持した場合、その上場維持基準を安定的かつ継続的に充たすことができなくなるリスクがあることから、株主の皆様が安心して当社株式を保有・売買できる環境を確保することが最適であると判断いたしました。

また、適合を目的とした短期的な視点ではなく、中長期的な視点で、限られた経営資源を戦略的に活用し事業成長に集中することが、当社の持続的な企業価値と株主利益の向上につながるものと判断いたしました。

当社といたしましては、スタンダード市場に上場以降においても革新的なアイデアと持続可能なビジネス実践を追求し、婚礼事業においては、「スタジオフォトパーク」によるフォトウエディングの導入や、受託事業の拡大など、幅広いお客様にアプローチするための施策を推進し、ホテル事業においても、インターナショナルゲストに対応できるクラブラウンジ、及び日本文化の良さを表現した和（なごみ）ラウンジの更なるサービス向上など新たな価値の創造に積極的に取り組みます。

スタンダード市場でも継続的な成長を実現し、未来への希望に満ちた展望を持ち、企業の健全性を保ちながら、株主利益の向上を実現できるよう邁進する所存でございます。

## 4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	月平均 売買高 (単位)	純資産の 額
当社の状況 (2022年12月末時点*)	14,721	150,791	56	30.7	29,360*	正
スタンダード市場 上場維持基準	400	2,000	10	25.0	10	正
適合状況	○	○	○	○	○	○

※当社の適合状況は、当社が算出を行った月平均売買高(対象期間:2023年1月から6月)を除き、

東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

当社は、スタンダード市場の上場維持基準について、上表のとおり適合していることを確認しております。今後、上場維持基準の各項目の判定基準日時点において、同市場の上場基準の全てに適合している場合には、上場維持基準への適合に向けた計画の開示の必要はなくなりますので、適合計画書の進捗状況は開示いたしません。引き続き当社の企業価値の向上に向けた取組みを進めてまいります。

以上